

「歯を守れ！ 予防歯科に命を懸けた男 日吉歯科診療所・熊谷崇の挑戦」

医療法人すみれ おおくぼ歯科クリニック 受付 雑賀 美香

「カンブリア宮殿」の放送を見て、この本を読んで一番感じたことは、熊谷先生には「患者のために」という信念、ゆるがない強い思いがあり、その信念に日吉歯科のスタッフが皆それぞれプロとして手を抜かず仕事をされていることです。「チーム医療」が成り立っていて、共有されている。各スタッフから、「自分がやらねば誰がやるんだ」という勢いを感じました。

熊谷先生は、患者のためならばとことんやる。元NHKのキャスターをスタッフにとお願いしたり、テレビ放送枠を買い取ったり、発想力の豊かさに加え、やるのが早く、実行力のある人であるということ。スタッフ達はその姿を見てついてくる。

「患者の喜ぶ顔が見たい」という思いも、思っている人はこの世に山ほどいると思いますが、長い年月をかけてあきらめずに取り組みされている姿勢は、尊敬しない人はいないと思います。「口の中が清潔になってから治療する」というルールを妥協しようと思ったことは一度もなく、これが失敗したら歯医者をやめる覚悟だったとまで言われていました。覚悟を決めて努力をおしまれない姿に、目頭が熱くなりました。

熊谷先生はご病気をされて、点滴よりも口から食べた方が早く回復することを身にしみて実感されました。私の職は受付事務ですが、自院に転職する前は20歳から12年間アパレルで販売員をしていました。そこから医療に転職したいと、その中でも歯科を選んだのは、人間の生活にかかせないのは衣・食・住であって、衣の服は数着あれば生きられます。住むところも、一つあれば暮らせます。食は、永久に食べ続けなければならない。それを取り入れるのは口で、噛んで味わうためには歯が必要です。その歯を健康に守り、知識をつけてまずは自分の周りの人に教えて行きたい！という思いからでした。そんな思いが通じて、幸運にも今の職場に巡り会いました。入職してから、予防歯科であることと、熊谷先生の存在を知りました。今まで私はフロスも使ったことがなかったので、とても衝撃的でした。そして知ったことを、とても幸運に思いました。

予防歯科の事を早く知り、勤めている衛生士さんも、大変かもしれないけれどとても幸せで羨ましいと思います。こんなにやりがいのある職であるのだろうかと思いました。勤める歯科医院によって、実力に差が出るのも分かりました。

私はオーラルフィジシャンミーティングに初めて参加した時に、衛生士になりたいと思いましたが、結婚がまず目の前にあり、学校に通うことと学費の面で白紙になりましたが、この本を読んで私は受付としてとことんつきつめようと思いました。

自院でも、受付は独立しています。日吉歯科の受付は、熊谷先生の「診療前の患者に余計なストレスを与えたくない」という思いから、広々と贅沢なスペースで患者さん達のリラックスしたムードが重なり、温泉のような雰囲気だと知り驚きました。

物品の自販機はとてもおもしろそうだなと思いました。ゲーム感覚というか、自分で購入する楽しさ（特に子供）もあります。

受付の平井さんが気をつけている事に、下記をあげられました。

- ① お金の計算を間違えないこと
- ② 会計処理をお待たせしないこと
- ③ カルテを読む能力を高める（チェック能力を高める）

自院も同じで、会計は出て来られてから待ち時間5分以内が目標なので、もたもたしてられません。私は③に力を入れます。ドクターに確認してばかりいけないし、それでは信頼も得られません。まず知識をつけるために、できれば院長が患者さんに治療内容を説明するコンサルに同席します。そこから本を読んだり資料をまとめたりしたいと思います。熊谷先生の助手の野口さんも、知識は医者にも劣らないとのこと。言葉はいらぬ、先を読んで動ける。すべての仕事に先を読む姿勢は必要で、受付では特に患者さんの「気持ちの先読み」が問われます。そこに知識が身につけば、もっと強みになり自信が持てます。学ぶことを止めてはならないことも、改めて痛感しました。

熊谷先生の言葉に「お互いもっと早く出会いたかったですね」の決まり文句のあとに、「でも遅すぎたから何もしないのではなくて、あなたの役割は子供や孫に同じ道を歩ませないことです」とありました。高齢化で年配の方も多し中、受付で一番発する必要がある言葉かもしれません。

「子供の歯の健康を守るために、診察室で待っているだけでは限られた成果しか上げられない。フィールドに出て、地域の人たちの教育に携わることが大切」と、熊谷先生は30年間学校医にもなり、教育され結果を出して来られました。意識の高い子供たちが増えており、家族も巻き込む。学校で衛生士が子供たちに向け予防授業をさせる際、身近な食べ物などに即して分かりやすく説明をされていて、自院で行っている「夏祭り」と「クリスマス会」のヒントもいただきました。

予防歯科を知り、学んでいることに幸せを感じています。毎日、患者さんの喜ぶ顔が見たいと願います。スタッフそれぞれの役割を尊重し支え合い、地域に貢献して結果を出して行きたいです。